

## 新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日時 令和2年6月16日（火） 午前9時59分から午前11時44分まで

2 出席者 20名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 3名

県民生活環境部長、県民生活環境部 次長、県民生活環境部 廃棄物対策課 課長

イ 日立市 5名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

### 3 会議概要

茨城県から、新産業廃棄物最終処分場整備の必要性や最終候補地に選定された経緯、理由のほか、住民説明会等の今後の取組内容についての説明を受け、質疑を行った。なお、主な質疑の内容は次のとおりです。

(1) 委員 : 「環境都市宣言をしている日立市にふさわしいモデル的な施設」とは、どのような施設を想定しているのか。

回答(県) : 現段階で、具体的な想定はないが、今後、基本計画を策定する中で、市の意見等を踏まえながら、循環型社会に貢献する中間処理施設や環境教育施設など、具体の検討を進める。

(2) 委員 : 「エコフロンティアかさま」には、中間処理施設として熔融処理施設が整備されているが、中間処理施設の計画はあるのか。

回答(県) : 現時点では、盛り込まれていない。今後、基本計画を策定する中で、市の意見等も参考に、環境都市宣言をしている日立市にふさわしい循環型社会に貢献する施設として、中間処理施設についても検討する。

(3) 委員 : 浸出水処理対策については、「エコフロンティアかさま」においては国の基準以上の安全対策を行っているが、近年のゲリラ豪雨などにも対応できるのか。

回答(県) : 法令基準を大幅に下回る数値まで浄化し、公共下水道へ放流する。また、1万800立米の地下調整槽を配置し、ゲリラ豪雨等にも十分対応できる。

(4) 委員 : 一日当たりの搬入車両を、どの程度と想定しているのか。

回答(県) : 「エコフロンティアかさま」では、現在、一日当たり約100台の搬入であり、同程度を想定している。

(5) 委員 : 整備候補地周辺には、小学校や保育園があるが、交通安全対策としては、どのようなことを考えているのか。

回答(県) : 地元の御意見等を踏まえて、今後策定する基本計画の中で具体的に検討することになるが、搬入時間を制限し通勤・通学時間を避けるほか、通行禁止エリアの設定、ハード面での道路拡幅等を想定している。

(6) 委員 : 住民説明会については、どのように進めていくのか。

回答(県) : 各学区コミュニティに相談しながら、近いところはより細かく実施し、その後は大きな範囲で順次実施していきたいと考えている。

(7) 委員 : 「エコフロンティアかさま」の見学会は、実施されるのか。

回答(県) : 住民説明会を開催した後、複数回に分けて予定したいと考えている。

以上